

平成24年度 第1回

佐倉市高齢者福祉・介護計画推進懇話会次第

日 時 平成24年5月28日（月）午後1時から

場 所 市役所 社会福祉センター 2階 会議室

1. 開 会

2. 議 事

(1) 平成23年度高齢者サービス等事業実績について

(2) 地域密着型サービス運営委員会

(3) その他

3. 閉 会

資料2

第5期計画期間中の施設整備計画公募状況について（日常生活圏域ごと）

	佐 倉	志津 北部	志津 南部	臼井・ 千代田	根郷・和 田・弥富	合 計
<b>施設サービス</b>						
①介護老人福祉施設 新 設				1 施設 100 床		1 施設 100 床
増 築						1 施設 50 床
②介護老人保健施設					1 施設 100 床	1 施設 100 床
①介護老人福祉施設介護老人福祉施設 公募期間：平成 24 年 4 月 20 日～平成 24 年 5 月 18 日 受付：新設 3 件・増築 1 件 ②介護老人保健施設 公募期間：平成 24 年 4 月 27 日～平成 24 年 6 月 8 日 問い合わせ多数						
<b>地域密着型サービス</b>						
①定期巡回・随時対応 型訪問介護看護						1 箇所
②夜間対応型訪問介護						
③認知症対応型通所介護		1 箇所 12 名			1 箇所 12 名	2 箇所 24 名
④小規模多機能型居宅介護	1 施設 25 名	1 施設 25 名	1 施設 25 名		1 施設 25 名	4 施設 100 名
⑤認知症対応型共同生活介護 (認知症高齢者グループホーム)		1 施設 18 床	1 施設 18 床			2 施設 36 床
⑥地域密着型特定施設 入居者生活介護						140 床
⑦地域密着型介護老人福 祉施設入所者生活介護	1 施設 29 名	1 施設 29 名	1 施設 29 名	1 施設 29 名	1 施設 29 名	5 施設 145 床
①③④⑤⑦ 公募期間：平成 24 年 4 月 27 日～平成 24 年 6 月 8 日 問い合わせ多数 ⑥特定施設【介護付き有料老人ホーム・サービス付き高齢者住宅】（地域密着型含む） 公募期間：平成 24 年 4 月 27 日～平成 24 年 7 月 2 日 問い合わせ多数						

資料2

日常生活圏域別施設整備状況

平成23年12月末現在

	佐 倉	志津 北部	志津 南部	臼井・ 千代田	根郷・和 田・弥富	合 計
施設サービス						
①介護老人福祉施設	3施設 230床	1施設 90床	1施設 60床		3施設 250床	8施設 630床
②介護老人保健施設	1施設 80床	1施設 96床	1施設 100床	1施設 100床		4施設 376床
③介護療養型医療施設	1施設 36床					1施設 36床
地域密着型サービス						
①定期巡回・随時対応型訪問介護看護						
②夜間対応型訪問介護		1箇所 300名				1箇所 300名
③認知症対応型通所介護	1箇所 12名		1箇所 10名	1箇所 12名		3箇所 34名
④小規模多機能型居宅介護				1施設 25名		1施設 25名
⑤認知症対応型共同生活介護 (認知症高齢者グループホーム)	1施設 15床	1施設 18床	1施設 18床	2施設 36床	1施設 18床	6施設 105床
⑥地域密着型特定施設 入居者生活介護	1施設 7床			1施設 20床		2施設 27床
⑦地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護						0施設 0床
⑧複合型サービス						
その他						
①介護付き有料老人ホーム (一般型特定施設入居者 生活介護)	1施設 485床					1施設 485床
②ケアハウス			1施設 50床	1施設 60床		2施設 110床

## 資料1

## 平成23年度高齢者サービス等事業実績について

## 1. 高齢者人口と高齢化率の現状

区分	佐倉地区		志津地区		臼井地区		根郷地区		和田地区		弥富地区		千代田地区		合計
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
全人口	30,338		75,590		31,975		25,387		2,105		1,792		11,012		178,199
	30,028		76,014		31,741		25,474		2,055		1,761		11,114		178,187
65歳以上人口	7,723		16,384		7,436		4,625		590		582		1,968		39,308
	8,020		17,258		7,851		4,891		576		588		2,074		41,258
高齢化率	25.46%		21.67%		23.26%		18.22%		28.03%		32.48%		17.87%		22.06%
	26.71%		22.70%		24.73%		19.20%		28.03%		33.39%		18.66%		23.15%
75歳以上人口	3,345		5,992		2,665		1,848		329		351		851		15,381
	3,498		6,484		2,863		1,980		323		338		919		16,405
後期高齢者高齢化率	11.03%		7.93%		8.33%		7.28%		15.63%		19.59%		7.73%		8.63%
	11.65%		8.53%		9.02%		7.77%		15.72%		19.19%		8.27%		9.21%

※上段(平成23年3月31日)

下段(平成24年3月31日)

## 2. 要介護(要支援)認定者数

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
総数	672	1,063	820	928	738	661	591	5,473
	618	1,159	839	1,049	740	737	598	5,740
第1号被保険者	645	1,021	792	876	700	629	568	5,231
	602	1,115	813	993	707	706	569	5,505
65歳～75未満	110	158	104	162	105	89	88	816
	89	187	100	168	97	87	90	818
75歳以上	535	863	688	714	595	540	480	4,415
	513	928	713	825	610	619	479	4,687
第2号被保険者	27	42	28	52	38	32	23	242
	16	44	26	56	33	31	29	235
在宅介護サービス	389	706	613	628	445	331	244	3,356
	336	817	635	761	453	352	239	3,593
地域密着型サービス	1	3	58	52	50	35	24	223
	0	0	54	64	49	43	28	238
介護福祉施設	0	0	7	56	89	126	167	445
	0	0	12	76	130	171	185	574
介護老人保健施設	0	0	34	61	83	88	59	325
	0	0	38	67	72	90	68	335
介護療養型施設	0	0	0	1	5	14	23	43
	0	0	0	2	3	17	23	45
差し引き	282	354	108	130	66	67	74	1,081

※上段(平成23年3月31日)

下段(平成24年3月31日)

## 3. 特別養護老人ホーム入所希望者数の推移〔待機状況別〕

年月	合計		居宅		老人保健施設		病院		療養型病床群		その他		養護老人ホーム	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
20年4月	609	100.0%	294	48.3%	136	22.3%	117	19.2%	14	2.3%	48	7.9%	0	0.0%
21年4月	606	100.0%	306	50.5%	126	20.8%	120	19.8%	11	1.8%	43	7.1%	0	0.0%
22年4月	612	100.0%	337	55.1%	110	18.0%	107	17.5%	10	1.6%	48	7.8%	0	0.0%
23年4月	620	100.0%	359	57.9%	110	17.7%	95	15.3%	8	1.3%	47	7.6%	1	0.2%
24年4月	609	100.0%	356	58.5%	88	14.4%	99	16.3%	9	1.5%	56	9.2%	1	0.2%

## 3-1. 特別養護老人ホーム入所希望者数の推移〔要介護度別〕

年月	合計		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
20年4月	609	100.0%	71	11.7%	110	18.1%	148	24.3%	146	24.0%	134	22.0%
21年4月	606	100.0%	86	14.2%	101	16.7%	166	27.4%	139	22.9%	114	18.8%
22年4月	612	100.0%	103	16.8%	121	19.8%	158	25.8%	135	22.1%	95	15.5%
23年4月	620	100.0%	93	15.0%	113	18.2%	143	23.1%	149	24.0%	122	19.7%
24年4月	609	100.0%	80	13.1%	134	22.0%	133	21.8%	132	21.7%	130	21.3%

## 平成23年度 高齢者サービス等事業実績について

## 『生きがい支援班 実施事業』

## 第1章 あたたかい心がふれあう地域づくり

## 3・福祉意識の高揚

## (3) 敬老事業の推進

## ①敬老会の実施

◆敬老会実績					
事業概要	市内在住の75歳以上のかたを対象に、各小・中学校の体育館などを会場として地域ぐるみの福祉推進事業〔会食、演芸会等〕や記念品を贈呈。				
年度	対象者数 〔75歳以上〕	参加者数	参加率 (参加者数/対象者数)	贈呈記念品	決算額
平成19年度	12,952人	4,084人	31.5%	タオルセット	22,601,054円
平成20年度	13,727人	4,546人	33.1%	スポーツタオル	28,332,132円
平成21年度	14,429人	新型インフルエンザの流行により中止。記念品のみ贈呈。		タオルセット	20,198,508円
平成22年度	15,480人	4,795人	31.0%	梅干しと献上茶	29,330,911円
平成23年度	16,463人	5,066人	30.8%	ご長寿逸品セット	28,967,130円

## ②敬老祝金の贈呈

◆敬老祝金贈呈事業実績					
事業概要	毎年、当該年度内に満80歳、満88歳、満99歳及び100歳以上の年齢に達する高齢者に対して敬老祝金を贈呈し、長寿を祝すとともに、敬老思想の高揚を図る。				
年度/内訳	贈呈対象者数				贈呈金額
	祝80歳 (贈呈金額1万円)	祝88歳 (贈呈金額3万円)	祝99歳 (贈呈金額5万円)	祝100歳以上 (贈呈金額10万円)	
平成19年度	943人	379人	20人	47人	26,500,000円
平成20年度	1,004人	409人	22人	46人	28,010,000円
平成21年度	979人	439人	28人	48人	29,160,000円
平成22年度	1,071人	438人	36人	50人	30,650,000円
平成23年度	1,158人	485人	36人	68人	34,730,000円

※参考 平成12年度	653人	291人	8人	15人	17,160,000円
---------------	------	------	----	-----	-------------

## 第3章 楽しく生きがいのあるくらしづくり

## 1・高齢者の就労機会の確保

## (1) 高齢者の就労機会の拡大

## ① 高齢者福祉作業所の活用

◆高齢者福祉作業所における各種講座の開催実績				
事業概要	市内在住の60歳以上のかたを対象に、高齢者の知識と経験を活かした就労や収入につながる技術の習得を目的とした各種講座を開催。			
年度	講座名	実施回数	延べ受講者数	決算額
平成19年度	籐工芸	33回	224人	
	七宝工芸	32回	244人	
	刺繍	35回	366人	
	竹工芸	40回	431人	
	園芸	37回	289人	
	合計	177回	1,554人	
平成20年度	籐工芸	35回	52人	
	七宝工芸	36回	277人	
	刺繍	36回	184人	
	竹工芸	43回	274人	
	園芸	43回	193人	
	合計	193回	980人	
平成21年度	籐工芸	35回	235人	
	七宝工芸	29回	168人	
	刺繍	35回	320人	
	竹工芸	39回	141人	
	園芸	43回	328人	
	合計	181回	1,192人	
平成22年度	籐工芸	36回	337人	
	七宝工芸	34回	203人	
	刺繍	35回	552人	
	竹工芸	39回	176人	
	園芸	45回	608人	
	合計	189回	1,876人	
平成23年度	籐工芸	36回	375人	
	七宝工芸	36回	216人	
	刺繍	36回	462人	
	竹工芸	39回	286人	
	園芸	41回	490人	
	合計	188回	1,829人	

※平成18年度～平成20年度までは指定管理として、契約金額の中に光熱水費や施設の機械・空調等の契約も含まれる。

## 資料2

### ②シルバー人材センターへの支援

◆社団法人佐倉市シルバー人材センターにおける実績					
年 度	会員数	就業延数	受注件数	契約金額	市補助金交付額
平成19年度	1,090人	139,519人	11,832件	691,477千円	10,054千円
平成20年度	1,129人	135,598人	12,329件	688,456千円	10,054千円
平成21年度	1,196人	124,016人	12,476件	623,868千円	10,000千円
平成22年度	1,195人	120,156人	12,590件	632,041千円	10,000千円
平成23年度	1,130人	105,408人	12,498件	559,389千円	10,000千円

### 2・高齢者の社会参加の促進

#### (1) 高齢者クラブ活動の支援

◆佐倉市高齢者クラブの単位クラブ数と会員数の推移						
年 度	60歳以上人口	単位クラブ数	会員数	うち75歳未満	うち75歳以上	決算額(補助金額)
平成19年度	49,112人	73	3,171人	1,371人	1,800人	4,489,060円
平成20年度	51,943人	63	2,776人	1,219人	1,557人	4,007,360円
平成21年度	54,574人	67	2,992人	1,328人	1,664人	4,144,720円
平成22年度	56,480人	65	2,966人	1,331人	1,635人	4,031,960円
平成23年度	58,513人	64	2,880人	1,229人	1,651人	3,971,200円

※参考 平成12年度	31,679人	109	5,185人	2,295人	2,890人	9,281,050円
---------------	---------	-----	--------	--------	--------	------------

- ・平成17年度より、単位クラブの基準額を4,000円から3,500円に変更。
- ・平成19年より友愛訪問事業を廃止。

### 3・高齢者の学習活動の推進

#### (2) 保健・福祉施設における実践型学習活動等の推進

◆佐倉市老人憩の家利用実績						
事業概要	市内3箇所にある「老人憩の家」を各指定管理者の管理運営により、高齢者の集会、趣味活動の場として提供しています。					
年 度	うすい荘		千代田荘		志津荘	
	利用件数	延べ利用者数(うち60歳以上)	利用件数	延べ利用者数(うち60歳以上)	利用件数	延べ利用者数(うち60歳以上)
平成19年度	372件	5,883人(4,628人)	273件	4,549人(2,078人)	715件	10,659人(10,069人)
平成20年度	438件	6,533人(5,025人)	253件	4,498人(2,010人)	842件	11,821人(11,156人)
平成21年度	530件	7,480人(6,024人)	270件	4,571人(4,591人)	818件	11,929人(11,071人)
平成22年度	582件	7,096人(6,140人)	281件	5,156人(2,829人)	1,064件	13,981人(13,119人)
平成23年度	597件	7,490人(6,606人)	296件	5,045人(2,867人)	1,104件	13,916人(12,983人)

◆佐倉市老人福祉センターにおける教養教室の開催実績					
事業概要	市内在住の60歳以上のかたを対象に、高齢者のための各種教養教室を開催。				
教室名	延べ生徒数				
年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
手芸教室	102人	161人	131人	40人	0人
七宝焼き教室	173人	183人	168人	157人	168人
カラオケ教室	867人	952人	963人	959人	922人
踊り教室	736人	624人	610人	657人	422人
劇団教室	595人	511人	443人	339人	304人
民謡教室	273人	297人	332人	294人	221人
尺八教室	149人	144人	135人	115人	184人
大正琴教室	295人	265人	267人	280人	261人
書道教室	339人	375人	338人	274人	356人
合計	3,529人	3,512人	3,387人	3,115人	2,838人

※老人福祉センターは、高齢者の憩いの場として、昭和57年5月にオープンしました。センター内には舞台付147畳敷の大広間をはじめ、教養娯楽室、浴室、機能回復訓練室等が設置されています。

・ご利用いただけるかた：60歳以上の市民とその団体〔15名以上〕

## 第4章 元気いっぱい いきいき健康づくり

### 2・いきいき健康づくり

#### (1) 高齢者安心カード交付事業

◆高齢者安心カード交付実績	
事業概要	市内に居住する60歳以上のかたを対象に、氏名、住所、緊急連絡先、かかりつけの医療機関などが記載された高齢者安心カードを交付。
年度	高齢者安心カード発行枚数
平成19年度	37枚
平成20年度	24枚
平成21年度	29枚
平成22年度	13枚
平成23年度	146枚



(2) はり、きゆう、マッサージ等利用支援

◆はり、きゆう、マッサージ等利用実績

事業概要	市内に居住する60歳以上のかた等を対象に、「はり、きゆう、マッサージ等施設利用助成券」を交付し、施術費用の一部助成を実施。					
年 度	申 請 者 数			交付枚数	利用枚数	決算額
	60歳以上	障害者	合 計			
平成19年度	3,039人	277人	3,316人	67,646枚	24,974枚	14,984,400円
平成20年度	3,181人	270人	3,451人	68,496枚	26,939枚	16,163,400円
平成21年度	3,991人	306人	4,297人	86,576枚	32,680枚	19,608,000円
平成22年度	3,982人	312人	4,294人	87,498枚	32,765枚	19,659,000円
平成23年度	4,152人	312人	4,464人	89,620枚	35,341枚	21,204,600円

※参考 平成12年度	2,372人	42人	2,414人	47,374枚	19,295枚	19,295,000円
---------------	--------	-----	--------	---------	---------	-------------

・平成17年度より、1枚当たりの助成金額を1,000円から600円へと変更

『介護予防関係実施事業』

第1章 あたたかい心がふれあう地域づくり

(2) 啓発活動の実施

①福祉・介護に関する各種講演会等の実施

福祉・介護に関する講演会等の実績		
年 度	実施回数	延べ参加者数
平成19年度	1回	82人
平成20年度	2回	301人
平成21年度	新型インフルエンザ流行により中止	
平成22年度	3回	763人
平成23年度	3回	578人

②市民への啓発活動

◆平成19～23年度共通実績

ア. 広報紙「こうほう佐倉」による普及・啓発
イ. 各種チラシ、リーフレットによる普及・啓発
ウ. 市のホームページによる普及・啓発
エ. CATVによる広報番組の活用

## 第4章 元気いっぱい いきいき健康づくり

### 1・介護予防〔地域支援事業〕の推進

#### (1) 介護予防の普及啓発

##### ① 高齢者等を対象とした介護予防に関する知識の普及啓発

◆介護予防普及啓発事業実績（23年度より地域包括支援センター実施分を含む）		
事業概要	一般高齢者を対象に、介護予防に関する出前講座や教室を実施。	
年 度	実施回数	延べ参加者数
平成19年度	69回	2,816人
平成20年度	79回	3,913人
平成21年度	69回	1,700人
平成22年度	62回	2,529人
平成23年度	508回	10,679人

※23年度より、市内5か所の地域包括支援センターによる普及啓発の実績を含む

##### ② 地域介護予防活動支援

◆地域介護予防活動支援事業実績		
事業概要	介護予防に関する取り組みが広く実施されるよう、地域における自主的な介護予防活動を行う人材の育成、支援を実施。	
年 度	実施回数	延べ参加者数
平成19年度	28回	637人
平成20年度	6回	87人
平成21年度	11回	192人
平成22年度	10回	220人
平成23年度	8回	70人

##### ③ 佐倉市としとらん塾（一般高齢者向け介護予防教室）の推進

◆佐倉市としとらん塾 実績		
事業概要	市内5箇所の地域介護相談センター（平成21年度以降は地域包括支援センター）において、一般高齢者を対象に、介護予防に関する基礎的な学習や体操等を実施。	
年 度	実施回数	延べ参加者数
平成19年度	44回	541人
平成20年度	44回	734人
平成21年度	46回	705人
平成22年度	59回	842人
平成23年度	60回	1,124人

(2) 地域と一体となった介護予防の推進

①介護予防リーダーの養成

事業概要	地域において自主的な介護予防に資する活動が広く実施されるように、その役割を担う介護予防リーダーを養成。
年 度	介護予防リーダー登録者数
平成19年度	33人
平成20年度	32人
平成21年度	30人
平成22年度	32人
平成23年度	31人

②学習サポーターの養成

事業概要	通所型介護予防〔認知症予防の教室〕の実施にあたり、効果的な教室の運営を行うために、学習サポーターを養成。
年 度	学習サポーター登録者数
平成19年度	14人
平成20年度	15人
平成21年度	18人
平成22年度	15人
平成23年度	17人

(注) 介護予防〔地域支援事業〕の必要経費は、介護保険特別会計の地域支援事業費で賄われています。

(3) 二次予防事業の対象者を対象とした介護予防の推進

①二次予防事業の対象者の把握（スクリーニング）

◆二次予防事業の対象者の把握状況					
事業概要	65歳以上のかた〔要支援・要介護認定者を除く〕を対象に、日常生活に必要な機能の状態を確認するための生活機能評価（※）を実施し、生活機能の低下がみられるかた【二次予防事業の対象者】を把握。				
年 度	65歳以上人口(A) (要介護認定者除く)	生活機能評価の受診者(B) (B) / (A)	診療情報提供書による把握(C) (C) / (A)	二次予防事業の対象者(E) (E) / (A)	介護予防事業参加者(F) (F) / (A)
平成19年度	29,628人	3,714人 12.54%	16人 0.05%	297人 1.00%	33人 0.11%
平成20年度	31,703人	6,324人 19.95%	/	618人 1.95%	38人 0.12%
平成21年度	33,256人	6,674人 20.07%		579人 1.74%	42人 0.13%
平成22年度	34,077人	7,604人 22.31%		838人 2.46%	82人 0.24%
平成23年度	35,753人	11,215人 31.37%		2,316人 6.48%	126人 0.35%

(※)平成 23 年度からは、地域支援事業実施要綱の改正により、二次予防事業の対象者の把握方法が、生活機能評価から基本チェックリストの実施に変更となっています。従って 23 年度の生活機能評価受診者 (B) の人数は「基本チェックリスト実施者数」となります。

\* 診療情報提供書による把握方法は、地域支援事業実施要綱の改正により平成 19 年度で終了しています。

## ②通所型介護予防（各種介護予防教室）の推進

◆通所型介護予防事業実績						
事業概要	生活機能の低下がみられる方を対象に、各種介護予防教室への参加を促し、個々の状態にあった各種プログラムを提供することにより、生活機能の維持・向上を図る。					
分類	平成 19 年度			平成 20 年度		
	実施回数	実参加者数	延べ参加者数	実施回数	実参加者数	延べ参加者数
運動器の機能向上	27 回	38 人	291 人	20 回	28 人	226 人
栄養改善	28 回	20 人	130 人	20 回	10 人	92 人
口腔機能の向上	27 回	18 人	137 人	20 回	18 人	155 人
認知症予防	42 回	34 人	539 人	42 回	49 人	743 人
介護予防全般	2 回	22 人	22 人	6 回	41 人	101 人
合計	126 回	132 人	1,119 人	108 回	146 人	1,317 人
分類	平成 21 年度			平成 22 年度		
	実施回数	実参加者数	延べ参加者数	実施回数	実参加者数	延べ参加者数
運動器の機能向上	18 回	38 人	279 人	20 回	65 人	347 人
栄養改善	18 回	9 人	72 人	18 回	11 人	80 人
口腔機能の向上	18 回	24 人	189 人	18 回	18 人	126 人
認知症予防	41 回	51 人	773 人	41 回	49 人	732 人
介護予防全般	8 回	27 人	115 人	0 回	0 人	0 人
合計	103 回	149 人	1,428 人	97 回	143 人	1,285 人
分類	平成 23 年度					
	実施回数	実参加者数	延べ参加者数			
運動器の機能向上	16 回	38 人	247 人			
栄養改善	16 回	10 人	72 人			
口腔機能の向上	17 回	45 人	130 人			
認知症予防	40 回	52 人	784 人			
介護予防全般	6 回	45 人	115 人			
合計	95 回	190 人	1,348 人			

### ③訪問型介護予防の推進

#### ◆訪問型介護予防事業実績

事業概要	通所型形態による教室参加が困難な特定高齢者を対象に、保健師等が居宅を直接訪問し、生活機能に関する問題を総合的に把握し、適切な相談、指導等を実施。	
年 度	実施回数	実参加者数
平成 19 年度	9回	8人
平成 20 年度	3回	3人
平成 21 年度	21回	1人
平成 22 年度	2回	1人
平成 23 年度	0回	0人

(注) 介護予防〔地域支援事業〕の必要経費は、介護保険特別会計の地域支援事業費で賄われています。

### 3・認知症予防の推進

#### (1) 通所型介護予防〔認知症予防の教室〕の推進

#### ◆通所型介護予防事業〔認知症予防教室〕実績【再掲】

事業概要	生活機能の低下がみられる方を対象に、簡単な読み書き、計算等による脳のトレーニングや体操など、認知症を予防する通所型の介護予防教室を実施。		
年 度	実施回数	実参加者数	延べ参加者数
平成 19 年度	42回	34人	539人
平成 20 年度	42回	49人	743人
平成 21 年度	41回	51人	773人
平成 22 年度	41回	49人	732人
平成 23 年度	40回	52人	784人

#### (2) 物忘れ相談の実施

#### ◆物忘れ相談実績

事業概要	物忘れや認知症について不安があるかた及びその家族を対象に、専門医等による個別相談を実施。	
年 度	実施回数	相談件数
平成 19 年度	10回	30件
平成 20 年度	11回	22件
平成 21 年度	9回	30件
平成 22 年度	9回	25件
平成 23 年度	9回	25件

## 『包括支援班 実施事業』

### 第4章 元気いっぱい いきいき健康づくり

#### 3・介護家族の支援

##### (1) 介護者教室

◆介護者教室開催実績		
事業概要	介護中のかた、これから介護を行う予定のかたを対象に、基本的な介護に関する学習及び実習、並びに介護相談を実施。	
年 度	実施回数	延べ参加者数
平成19年度	15回	217人
平成20年度	14回	177人
平成21年度	20回	266人
平成22年度	9回	98人
平成23年度	10回	119人

##### (2) 介護家族の継続支援

###### ①紙おむつ等購入助成

◆紙おむつ等購入助成事業実績				
事業概要	紙おむつまたは尿取りパッドが必要な要介護度3以上の居宅の高齢者等に対して、「紙おむつ等購入助成券」を交付し、紙おむつ等の購入費用の一部助成を実施。			
年 度	申請者数	交付枚数	利用枚数	決算額
平成19年度	836人	16,602枚	12,173枚	18,259,500円
平成20年度	864人	17,674枚	12,931枚	19,396,500円
平成21年度	862人	17,358枚	13,005枚	19,507,500円
平成22年度	964人	19,196枚	13,496枚	20,244,000円
平成23年度	1,032人	20,728枚	14,024枚	21,036,000円

###### ②介護者のつどい

◆介護者のつどい開催実績		
事業概要	介護中のかたを対象に、介護に関する学習、介護者自身の健康管理、情報交換等を通じ、精神面を含めた支援を実施。	
年 度	実施回数	延べ参加者数
平成19年度	9回	66人
平成20年度	11回	91人
平成21年度	18回	138人
平成22年度	34回	273人
平成23年度	40回	305人

### 3・介護家族の支援

#### (2) 介護家族の継続支援

##### ③訪問理美容出張費用助成

◆訪問理美容出張費用助成事業実績				
事業概要	高齢者及び障害者のみの世帯に属する居宅の65歳以上かつ要介護度4以上のかたで、外出が困難なかたを対象に、「高齢者訪問理美容出張費用助成券」を交付し、居宅で理容または美容のサービスを受ける際の出張費用の一部助成を実施。			
年度	申請者数	交付枚数	利用枚数	決算額
平成19年度	4人	13枚	8枚	8,000円
平成20年度	6人	20枚	15枚	15,000円
平成21年度	7人	25枚	6枚	6,000円
平成22年度	7人	22枚	13枚	13,000円
平成23年度	6人	20枚	7枚	7,000円

### 4・高齢者の生活を支援する福祉サービスの推進

#### (1) 自立した生活の支援

##### ①栄養改善が必要な高齢者への配食サービス

◆配食サービス事業実績			
事業概要	65歳以上のひとり暮らしの高齢者、または高齢者のみの世帯で、調理や買い物等が困難なかたを対象に、週1回～5回、夕食を直接手渡して届けるサービスを提供。		
年度	年度末登録者数	延べ配食数	決算額
平成19年度	219人	23,530食	23,224,110円
平成20年度	216人	26,189食	25,848,543円
平成21年度	222人	24,605食	24,285,135円
平成22年度	177人	22,812食	22,515,444円
平成23年度	160人	19,778食	19,520,886円

##### ②緊急通報装置貸与

◆緊急通報装置貸与実績		
事業概要	ひとり暮らしの高齢者等に、緊急通報装置を設置〔貸与〕し、疾病・災害等の緊急時に迅速かつ適切に対応することのできるサービスを提供。	
年度	年度末設置台数	決算額
平成19年度	186台	5,300,400円
平成20年度	189台	5,734,050円
平成21年度	197台	6,144,600円
平成22年度	215台	6,935,250円
平成23年度	190台	6,733,650円

④生活管理指導短期宿泊事業

◆生活管理指導短期宿泊事業実績			
事業概要	社会的対応が困難な介護保険対象外の高齢者に対し、養護老人ホームにおける短期間の宿泊により日常生活に対する指導・支援を行い、基本的な生活習慣の確立が図られるように援助。		
年 度	登録者数	利用日数	決算額
平成 19 年度	8人	121日	673,365円
平成 20 年度	0人	0日	0円
平成 21 年度	3人	137日	762,405円
平成 22 年度	0人	0日	0円
平成 23 年度	0人	0日	0円



平成 2 4 年度 第 1 回

佐倉市高齢者福祉・介護計画推進懇話会  
(地域密着型サービス運営委員会)

会 議 資 料

平成 2 4 年 5 月 2 8 日(月) 開催

## 資料 3

### 佐倉市高齢者福祉・介護計画推進懇話会

#### 【職 務】

1. 佐倉市高齢者福祉・介護計画の策定及び変更に関して意見を述べること。
2. 佐倉市高齢者福祉・介護計画に関する事業の進行管理及び点検評価に際して意見を述べること。
3. 地域包括支援センターの運営等に関して意見を述べること。  
〔地域包括支援センター運営協議会としての機能〕
4. 地域密着型サービスの指定及び運営等に関して意見を述べること。  
〔地域密着型サービス運営委員会としての機能〕

#### ◆地域密着型サービス運営委員会

○佐倉市では、指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に際する意見等をいただく場として、地域密着型サービス等の運営に関する委員会を設置しております。

(参考) 介護保険法上における地域密着型サービス運営委員会の位置づけ

#### ・法第 42 条の 2 第 5 項

市町村は、前項の当該市町村における地域密着型介護サービス費の額を定めようとするときは、あらかじめ、当該市町村が行う介護保険の被保険者その他の関係者の意見を反映させ、及び学識経験を有する者の知見の活用を図るために必要な措置を講じなければならない。

#### ・法第 78 条の 2 第 6 項

市町村長は、第 42 条の 2 第 1 項本文の指定を行おうとするとき又は前項第 4 号の規定により同条第 1 項本文の指定をしないこととするときは、あらかじめ、当該市町村が行う介護保険の被保険者その他の関係者の意見を反映させるために必要な措置を講じなければならない。

#### ・法第 78 条の 4 第 5 項

市町村は、前項の当該市町村における指定地域密着型サービスに従事する従業者に関する基準及び指定地域密着型サービスの事業の設備及び運営に関する基準を定めようとするときは、あらかじめ、当該市町村が行う介護保険の被保険者その他の関係者の意見を反映させ、及び学識経験を有する者の知見の活用を図るために必要な措置を講じなければならない。

#### ※法第 42 条の 2 第 1 項（地域密着型サービス費の支給）

市町村は、要介護被保険者が、当該市町村の長が指定する者（以下「指定地域密着型サービス事業者」という。）から当該指定に係る地域密着型サービス事業を行う事業所により行われる地域密着型サービス（以下「指定地域密着型サービス」という。）を受けたときは、当該要介護被保険者に対し、当該指定地域密着型サービスに要した費用（認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護及び地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護に要した費用については、食事の提供に要する費用、居住に要する費用その他の日常生活に要する費用として厚生労働省令で定める費用を除く。以下この条において同じ。）について、地域密着型介護サービス費を支給する。

#### (2) 審議事項等

○地域密着型サービス事業所の指定等に関する次の事項について、ご意見等を述べていただくこととなります。

- ①地域密着型サービス事業所等の指定
- ②市独自の指定基準及び介護報酬の設定
- ③その他、地域密着型サービス事業所等の指定・指導等に関して必要であると判断した

## 資料 3

### 事項

#### ■市外地域密着型サービス事業所（認知症対応型共同生活介護・介護予防認知症対応型共同生活介護）の指定について

##### 【当該事業所の概要】

申請者：細野介護サービス有限会社  
申請者住所：群馬県安中市松井田町土塩 1 3 6 9 - 1  
代表者：代表取締役 上原 長太郎  
事業所名称：グループホームくつろぎの里  
事業所住所：群馬県安中市松井田町土塩 1 3 6 9 - 1  
サービスの種類：認知症対応型共同生活介護・  
介護予防認知症対応型共同生活介護  
(平成 1 8 年 4 月 1 日、安中市指定)  
利用定員：9名

##### 【経緯】

群馬県安中市内に所在している当該グループホームへ入居中の女性の息子様（佐倉市民）から相談がありました。

女性は旦那様と横浜市に居住しておりましたが、女性は当該グループホームへ平成 1 8 年 2 月より入居しており、今後も引き続きの入居を希望しております。

女性は 8 年ほど前から認知症の症状が出て、徘徊などを繰り返すようになりました。横浜市内の包括支援センターに相談し施設を探し、介護老人保健施設に入所をしました。しかし症状が悪化し、急速に足腰が弱り自力での歩行が困難となりました。その後も施設を探し、平成 1 8 年 2 月に娘様の嫁ぎ先の群馬県安中市にある当該グループホームへ入居しました。当時は地域密着型サービスの制度開始前であり、横浜市へ住民登録の方も住民票はそのままに入居可能でありました。

旦那様は横浜市で暮らしていましたが、現在は 8 8 歳の高齢で一人での暮らしが難しくなり、この度息子様の佐倉市の自宅に隣接する家へ移住されました。

横浜市には誰も居住していない状況となり、女性の住民票を移動しようとしたところ、平成 1 8 年 4 月より地域密着型サービスの制度が開始されたことにより、安中市では規定により、3ヶ月以上市内に住民登録の実績がないと地域密着型サービスを利用できないとしておりました。よって安中市へ住民票を移すとすると、当該グループホームを退去しなければなりません。

女性は当該グループホームでの生活に慣れ親しんでおり、入居以降、認知症の症状も安定しております。退去することにより、再び認知症の症状の悪化、身体状況の悪化の危険性が大きく、このような事態は避けなければなりません。

佐倉市としては特例で当該グループホームを指定し、女性が旦那様と同じく佐倉市へ住民票を移し、引き続き現在の介護サービスをご利用可能としたいと考えます。